

学校規模と1学年3学級以下の学校の評価等について

H21.9.17「第二次県立高等学校長期構想検討委員会報告」等より

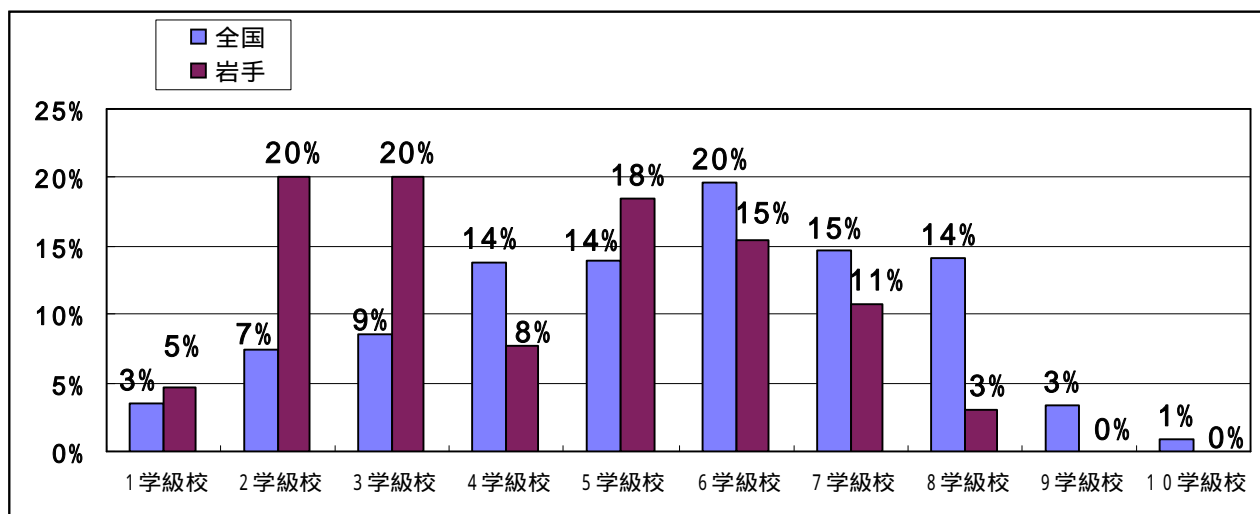
1 学校規模の全国との比較

1学年の平均学級数

年 度	全国平均	岩 手 県	全国順位
平成21年度	5.44学級	4.20学級	41位
平成31年度		3.23学級	

平成31年度の「3.23学級」は、平成21年度の学校数65を維持した場合の推計値。

学校規模と全体に占める割合(平成21年度)

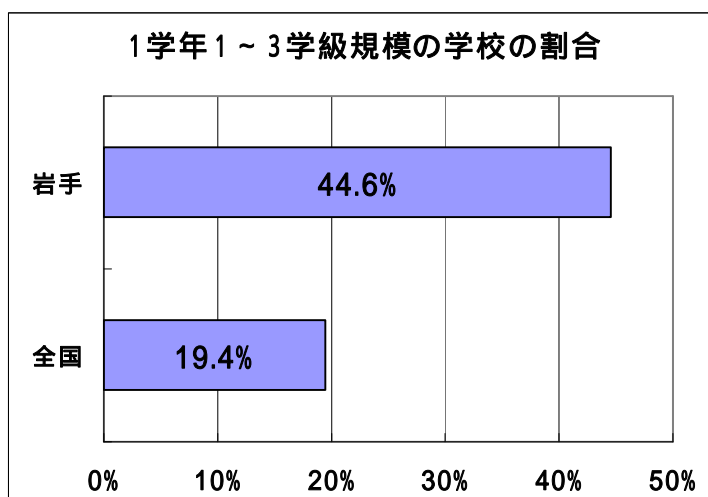


学校規模については、更なる少子化の進行により生徒数の減少と学校の小規模化が進行することから、学習活動、学校行事、部活動などの面で、多くの生徒が共に学び、ともに競い合うなど切磋琢磨する機会を確保するため、今後においても具体的な対策を講じる必要がある。

2 1学年1～3学級規模の学校の教育実践状況

(1) 県立高校全日制課程における1学年1～3学級規模の学校の割合(平成21年度)

	学校数	3学級規模の学校数	割合
全 国	3368	654	19.4%
岩手県	65	29	44.6%
全国順位			46位



小規模校においても、限られた教員配置の中で教員や生徒の努力及び地域からの支援によって教育活動を展開しており、進学や部活動の成果など一定の実績を上げている。

(2) 学習指導

現 状	課 題
生徒の学力差が大きいことから、英数の授業では習熟度別指導を行っている高校が多く、また、就職希望者に対して資格取得に力を入れるなど生徒の学習意欲の向上に取り組む、よい方向に変容する生徒も存在する。	教員数が限られるため普通教科における生徒の科目選択の幅が少なく、多様な進路希望への対応や学習内容の質の確保が難しい状況である。

普通教科の平均教員配置数(平成20年度) (単位:人)

(1～3学年が同一クラス数である普通科系学科のみを設置する高校の状況)

	1学級規模	2学級規模	3学級規模	4学級規模	5学級規模	6学級規模
国 語	1.0	2.3	3.0	5.0	5.8	7.0
地歴・公民	1.0	2.2	3.3	3.0	5.0	6.0
数 学	1.0	2.8	3.8	6.0	6.0	8.0
理 科	1.5	2.3	3.3	4.0	4.8	6.7
英 語	2.0	2.9	3.5	5.0	6.8	8.3
保 体	1.5	2.2	2.8	4.0	4.5	4.3
芸 術	0.5	2.0	2.5	3.0	3.0	3.3
家 庭	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.7
情 報	0.0	0.5	0.3	1.0	1.3	0.3
合 計	9.5	18.2	23.3	32.0	38.0	45.7

例

例

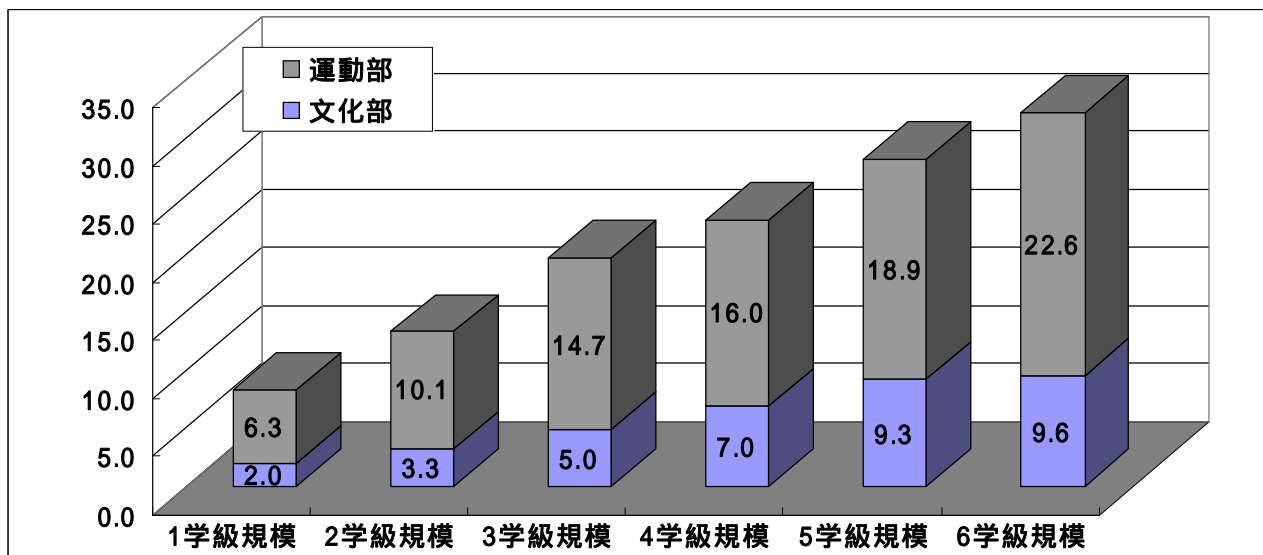
地歴、理科の開設科目の例

このように、6学級規模の学校では、普通教育に関する教科に多くの科目を開設し、生徒にとっては広範囲な進学希望や興味・関心に応じて選択できる状況である。3学級規模の学校では、生徒の多様な進路希望に対応するため、商業科目などの専門教育に関する教科の開設が工夫されている一方で、普通教育に関する教科の開設科目が限定される。例えば、地歴では地理を履修できない、理科では地学を履修できないなど生徒の興味・関心に対応できない場合があり、また、進学希望者にとっては、履修科目によって進学の選択肢が狭められることにつながる。

3学級規模		6学級規模	
【地歴】	【理科】	【地歴】	【理科】
世界史A	理科総合B	世界史A	理科総合A
世界史B	物理	世界史B	物理
日本史A	物理	日本史A	物理
日本史B	化学	日本史B	化学
	化学	地理A	化学
	生物	地理B	生物
	生物		生物
			地学
			地学
地歴平均	理科平均	地歴平均	理科平均
4.25科目	7.25科目	6.00科目	8.67科目

(3) 部活動の開設状況

現 状	課 題
一部では地域のスポーツ少年団などと連携し、継続した指導体制により成果を上げている高校もある。	生徒数の関係から部数が制限され、生徒の選択肢が少なく、中学校にある部が高校にないということにより継続的な指導ができていないなどの課題がある。



全学年が存在している県立全日制高校について、学校規模別に平均した値である。平成20年度学校要覧による、開設している部活動(同好会を除く)である。

(4) 生徒指導

現 状	課 題
生徒数が少ないことにより、生徒一人一人の状況を多くの教員が共有することができることから、個々に対応したきめ細かい指導ができるメリットがある。	生徒数が少ないことで、生徒同士が切磋琢磨する環境づくりが難しい状況である。教員にとっては、学校不適應の生徒や特別な支援を要する生徒が多いことから、その対応も求められるなど負担が大きい環境となっている。

(5) 地域との関わり

小規模校は一市町村に一校のみ設置されている場合が多く、地域唯一の高校として奉仕活動やボランティア活動などの地域活動を積極的に行うことで地域との連携が密に図られており、地域から高い評価を受けている。

3 望ましい学校規模

1学年3学級以下の小規模校では、一定の良さが認められるが、小規模校の教育実践の状況で述べているような生徒の学習面や指導面における課題が認められ、その設置については岩手の高校教育が目指す姿を踏まえて検討する必要がある。